



令和6年3月14日
小田原市立下幼稚園
担任 藤原 園加

日中はポカポカと暖かい日が増えました。「公園でつくしを見たよ」という子どもの言葉に、春の訪れが近付いてきていることを感じます。

早いもので、いよいよ明日、卒園式を迎えます。2年間の幼稚園生活で立派に育った3人が、園長先生から『修了証書』を受け取り、小学校へと旅立つ姿を、しっかりと見送りたいと思います。

ライブにきてね♡♡

衣装をつくり、好きな曲に合わせて歌ったり踊ったりしながら連日ショーごっこを楽しんでいた子どもたち。そんな中「お家の人にも見てほしいな…」という思いが出てきたことで、急遽お家の人に来てもらい『ライブ』を開催することに。ポスターやチケット、入口づくり、衣装の完成など、当日までにやりたいことがたくさんある中『大好きなお家の人に来てくれる』というワクワク感が力となり、2日間であつという間に全て完成させてしまいました。当日は緊張してガチガチだった子どもたちですが、それも良い経験、素敵な思い出となったことでしょう。

『できる・できない』『正しい・正しくない』ではなく、好きなこと、楽しいことを伸び伸びと表現し、夢中で楽しむことができる8人の姿は、とても素敵です。その真っ直ぐな心を、いつまでも大切にしたいと思っています。ショーごっこを通して子どもたちと一緒に歌ったり踊ったりし、楽しい時間を過ごせたことは、担任にとっても、良い思い出となりました。保護者の皆様のご協力、本当にありがとうございました。



卒園式に向けて…

2月の中旬頃より、卒園式の活動に取り組み始めたつき組の3人。『幼稚園の2年間で、どんなことが楽しかったか』を振り返りながら、子どもたちと『お別れの言葉』を決めていく中で「遠足で長い滑り台をしたことが楽しかった」「落とし穴で〇〇先生を落としたよね」「冬まつりドキドキしたなあ」と、ノートがすぐにいっぱいになってしまう程の思い出を笑顔で話す3人の姿から、楽しい思い出に溢れ、充実した園生活となったのだらうと感じました。

子どもたちの思いをたくさん詰め込んだ分、今年度は、お別れの言葉がとても長くなってしまいました。初めのうちは『覚えられるだろうか…?』と不安そうに取り組んでいた3人も、予行練習頃から変化が見られ、大きな声で自信をもって取り組めるようになりました。2年間の楽しかった思い出や、お家の人・さくら組・地域の方・先生に伝えたい言葉など、子どもたちの思いがたくさん詰まっています。

その思いを、大きな声でしっかりと届けることを目標として日々頑張っていますので、当日、温かく見守っていただけると嬉しいです。



ぜったいぜったい わすれないよ ずっとずっと だいすきだよ

令和4年4月7日、小さくて可愛らしい3人が、下中幼稚園に入園しました。

入園したばかりの頃は、慣れない園生活に不安を感じたり、泣いたり怒ったり…。いろいろな姿を見せてくれていましたが、徐々に幼稚園の楽しさ、友達と一緒に遊ぶ楽しさ、友達と協力したり相談したりする大切さや難しさ、みんなで目的に向かって力を発揮し、やり遂げたときの達成感など、様々な経験を通し、様々なことを学びながら、心も体も大きくなりました。

小学校では、幼稚園とは違った大きな集団の中での生活が始まります。ドキドキすること、驚くこと、心配なこと、楽しいこと、嬉しいこと、幸せなこと…いろいろなことがあると思いますが、3人らしく、自信をもって楽しい毎日を過ごしてほしいと願っています。いつまでも応援しています。

保護者の皆様も、2年間、本当にありがとうございました。

